

と 議会議だより



東郷音頭・東郷小唄「親子・こども教室」

2017年 (平成29年) 第 122 号

2月1日 発行

	ページ
■12月定例会	2
■議案審議の結果一覧	4
■一般質問に13人	5
■委員会の研修報告	12
■議会の活動	15

12月
定例会

平成28年第4回定例会（12月議会）が11月28日から12月20日までの23日間の日程で開催されました。
12月議会では、平成28年度一般会計補正予算をはじめ条例改正案等13議案が上程されました。
その他、請願2件や陳情1件、意見書案1件が提出され、それら議案の審議結果は、4頁の審議一覧表をご覧ください。

正予算可決

に525万円を増額

東郷町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

（賛成多数で可決）

農業委員の定数を18人から10人に改正し、農地利用適正化推進委員を新設し定数を5人とする条例。

反対

農地を守る役割を担ってきた農業委員会の定数を半減し、選挙で選ぶ制度をなくし、町長の任命制にすることにより、行政の下請け機関としての性格が強まり、農地保全の役割の弱体化が懸念される。

（門原武志 議員）

賛成

農業委員会等に関する法律の改正に伴うもので、プロセスに問題のないものと認識している。新たな委員には、農地利用の集積集約化や耕作放棄地の発生防止・解消など、農地利用の最適化にご尽力いただき、本町の農業発展に期待したい。

（水川 淳 議員）

本町の田畑面積は22%にあたる3.96km²を約200人が所有。農業就業人口は273人。9割弱の田畑所有者は農業従業者

でない。今回の改正で農業委員や農地利用最適化推進委員の業務の重点化で担い手への農地利用の集積・集約化や耕作放棄地の発生防止に期待し、賛成する。

（加藤宏明 議員）

東郷町特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

（賛成多数で可決）

町長、副町長、教育長の期末手当の支給額を改正する必要があるからである。

差額町長（約12万7千円）、副町長（約10万3千円）、教育長（約9万5千円）

平成
28年度

一般会計補

既定の歳入歳出予算の総額

反対

町長の報酬について現状の報酬額を基に上がっていくが、本来は、その時の町税収入に応じて報酬額は、査定する。今の報酬の決め方には疑問を感じるので反対する。

(いづいゆみ 議員)

賛成

町長の給料や議員の報酬は報酬審議会の答申に従って決められる。報酬審議会は人事院勧告に準拠して答申してきた。この議案は報酬審議会の答申によるものではないが人事院勧告に準拠したものだ。

(門原武志 議員)

本議案は、人事院勧

告に基づくものである。

反対討論では横並びへの批判が聞かれたが、給与・報酬等に関する案件については、人事院勧告を基にするほかに、住民にご理解いただける根拠は現在存在していない。代案なき反対は適当ではない。

(水川 淳 議員)

介護・福祉・医療などの
社会保障の施策拡充に
ついての請願書

(不採択)

町に介護保険・国民健康保険・福祉医療制度などの施策拡充を求め、議会にこれらの施策拡充を求める意見書を国・県に提出するよう求める請願。

反対

請願は総花式に採択

賛成

せず慎重に審査すべきである。本請願は委員会で紹介議員も「総花的な要求」と発言されている。また、国の制度改「悪」と決めつけ各自治体の意見を聞く姿勢は公益性を求める観点に欠ける。

(石橋直季 議員)

請願項目は多いが、どれも地域住民の命とくらしを守るために必要。請願を提出した愛知自治体キャラバンが県内全市町村を訪問し要請したことの多くが実現した。政治信条の違いを超えて一致できることの現れだ。

(門原武志 議員)

議案審議の結果一覧

12月定例会

議案名

※議長 箕浦克巳は採決に加わらない ○…賛成 ×…反対
※太字は討論があった議案名

審議結果	石橋直季	國府田さとみ	新家光江	西尾隆男	加藤達雄	いしいゆみ	加藤宏明	若松孝行	水川淳	井俣憲治	加藤啓二	近藤鑛治	若園ひでこ	門原武志	箕浦克巳	星野靖江
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
東郷町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度東郷町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度東郷町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度東郷町国民健康保険東郷診療所特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度東郷町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度東郷町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
陳情書「商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

意見書

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、健やかに成長していくことは、すべての国民の切なる願いである。

定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率二分の一への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

提出先

内閣総理大臣
文部科学大臣
財務大臣
総務大臣

陳情書

商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充

1. 商工会事業運営に対する財政的支援の維持・拡充
2. 小規模企業振興基本法制定に伴う中小企業・小規模企業振興基本条例の早期制定と商工会との連携の推進
3. 小規模事業者の経営支援の強化
4. 官公需発注における商工会員を優先した受注機会の確保
5. 地域資源活用による地域ブランドの創出

陳情者氏名

愛知県商工会連合会 会長 森田 哲夫
東郷町商工会 会長 松野 一彦

町政を問う

ここが聞きたい!

13議員が質問

※「一般質問」とは、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策議論です。

- 水川 淳 1 ICTデバイスを活用した業務の効率化について（ペーパーレス化）…… P5
2 図書館の利用状況について
- 若松 孝行 1 ごみの減量化と資源化の推進について …… P6
- 近藤 鑛治 1 都市計画公園・緑地等について …… P6
2 伝統文化の継承・発信について
3 総合体育館の活用について
- 加藤 達雄 1 東郷町地域防災計画について …… P7
2 介護予防・日常生活支援総合事業について
- 加藤 宏明 1 本町の地球温暖化対策設備導入促進事業について …… P7
2 本町の農業の現状について
- 井俣 憲治 1 雇用環境および地元企業振興について …… P8
2 東郷町施設サービス(株)およびシルバー人材センターについて
3 東郷中央土地整理組合の現状と周辺道路整備について
- 星野 靖江 1 長寿社会と福祉サービスへの取り組みについて …… P8
2 出かけたいまちづくりと公共交通網の充実について
3 児童館運営について

- 門原 武志 1 仮称新諸輪保育園の開園について …… P9
2 教育費への支援について
3 個人情報保護条例の運用などについて
- いしいゆみ 1 投書カードについて …… P9
2 災害時について
3 東郷町施設サービス(株)について
4 改正介護保険について（総合事業）
- 石橋 直季 1 子ども予防接種について …… P10
2 道の駅について
3 合併について
- 加藤 啓二 1 学校施設等の維持管理計画について …… P10
2 通学路の見直しについて
3 東郷町の産業廃棄物等による環境問題への対策について
- 若園ひでこ 1 東郷町周辺地下鉄駅への公共バス路線とバスターミナルについて …… P11
2 名古屋市との合併について
- 國府田さとみ 1 給食における遺伝子組み換え食品及び原材料における取り組みについて …… P11
2 近年の食環境における糖質過多と骨の健康への影響について
3 健康づくりを掲げる本町が取り組むべく学校給食について



Q：ICT化具体策として加除式例規集廃止は
A：縮減の方向で検討していきたい

水川 淳 議員

【問】町民会館と同じ開館時間の可能性は。

【図書館の利用状況について】

【総務部長】 議場で執行側が電子端末を利用できれば可能と考える。

【問】議案書のペーパーレス化の可能性は。

【総務部長】 すべての事務を電子化するのは難しいが、可能な事務については研究していく必要があると考えている。

【問】ICTデバイス活用による紙媒体からデジタル化への移行は、時間的効率、物理的効果（経費節減、環境対策）および保管の観点からも効果が大きい。紙媒体から電子化への移行の考えは。



さらなる利便向上を期待したい
町立図書館

【問】健康施策面で評価の高い現行の指定管理者のポテンシャルに期待している。だからこそその利用促進策を伺う。

【教育部長】 指定管理4年目となり、実績評価と合わせ次期の仕様書を検討する必要がある。時間延長は利用増もあるが経費も増すので状況を見守りたい。

【問】健康施策面で評価の高い現行の指定管理者のポテンシャルに期待している。だからこそその利用促進策を伺う。

【教育部長】 要望は仕様書に載せるが指定管理者側からの利便向上策の提案にも期待したい。



**Q：排出ごみ・資源ごみの年間処理費用はいくら
A：尾三衛生組合への負担金を合わせ約4億円**

若松 孝行 議員

【問】第5次東郷町総合計画に「ごみの適正な処理などを進める」とあるが具体的な説明を。

【生活部長】町民や事業者がごみの排出に関する正しい知識を持ち、分別の徹底や減量化を通じて適正な排出をし町は住民等が適正な排出ができるよう啓発活動や支援などを行い、それらによって出されたごみ等を適切な方法で処理していくこと。

【問】過去3年間の家庭系ごみと事業系ごみの割合と増加率は。

【生活部長】平成25年度に東郷町から尾三衛生組合への搬入量は、家庭系ごみが約9202トン、割合は81%、事業系ごみが約2163トンで19%。



北部資源回収ステーション

26年度は家庭系が約9194トンで78%、事業系が2546トンで22%。27年度は家庭系が約9212トンで78%、事業系が2602トンで22%。増加率は25年度と27年度との比較で家庭系0.1%の増加に対して事業系は20%の増加となった。

【問】指定ごみ袋の1世帯の年間使用数は。

【生活部長】27年度は可燃ごみの大約136枚、可燃ごみの小約11枚、不燃ごみ約14枚。

**Q：公園の安全性、遊具の点検は誰がしているか
A：専門業者に点検を委託、職員も巡回している**

近藤 鑛治 議員



【問】安全点検の実施状況は。

【経済建設部長】専門業者に委託し遊具の点検に関する点検基準に基づき、定期点検年1回、保守点検年3回実施。町としては、点検項目を定め毎月職員が巡回し安全確認をしている。

【問】点検内容・修繕は。

【経済建設部長】目視・触手・点検ハンマーによる打音検査等で修繕の必要を判断し対応している。緊急性の高いものは、使用禁止処置を施し、修繕や撤去を行なっている。

【問】幼児用のブランコの設置基準はあるか。

【経済建設部長】基準はないが、改修の際に少しずつ入れ替えをしていく。

いく。

【問】公園遊具の設置はどの様にして決めるか。

【経済建設部長】ワークショップを活用し設置遊具だけでなく、公園全体の計画を周辺住民と決めている。

【問】大人用遊具（高齢者健康遊具）設置の考えは。

【経済建設部長】今後は高齢者も増えることから集いやすい場所として遊具の取り換えの際検討して行きたい。



半ノ木公園

Q：『東郷町総合防災訓練』のテーマ・狙いは
A：避難所開設・運営訓練と関係機関と連携強化



加藤 達雄 議員

【問】防災訓練の具体的な内容や参加者の反応は。
【総務部長】避難者名簿の作成、間仕切りや簡易トイレの設置、物資や食料の要請など避難所開設・運営訓練。また関係機関や団体には、AED・心肺蘇生、応急手当、初期消火訓練の体験コーナー、防災ブースの展示等。「防災について考えるきっかけになったか」のアンケートに98%が肯定的な回答であった。

【問】避難所でマンホールトイレの評価が高いと聞かされた採用の検討は。
【経済建設部長】災害発生時のトイレの確保は水道や電気と同等に重要なものと認識している。下水道の接続が可能な市街化区域内の避難場予定施設で設置の検討をしている。

【問】総合事業に代わることに不安を抱く利用者もいる。受け皿は。
【福祉部長】現在本町では訪問型サービス従事者として、利用者と信頼関係を築きながら活動できる生活支援サポートを養成しており、基準緩和型サービスの担い手となって頂ける。



町総合防災訓練会場（諸輪小学校）

Q：温暖化や環境負荷の低減に役立つ補助導入は
A：HEMSなどを補助対象として検討していく



加藤 宏明 議員

【問】太陽光発電システム補助実績は。
【生活部長】昨年度は申請83件の新築があった。新築家屋が207件であるので1割程度が設置申請した。過去も含め申請の内、既存に7割、新築に3割。

【問】「エコまち法」作成の本町で太陽光発電システム以外の補助も必要と考える、省エネ・創エネ・蓄エネ・見える化等の導入予定は。
【生活部長】HEMS、燃料電池、電気自動車供給設備において導入する方向で考えていきたいと思う。

【問】東郷セントラル地区には今後多くの新築住宅が建設される、どの住居にも太陽光システムのやHEMSや蓄電池が備えられ、自動車も電気自動車のカーシェアリングが行われたり、バス交通の充実が図られ、環境負荷の少ない新エネルギー施設を導入したスマートシティの街が形成されると思うが、補助検討は。
【生活部長】地球温暖化防止対策を推進し、区域内の住宅建設の進捗を見据えながら補助金の増額についても検討していきたい。



創エネと無電柱化のまちづくり

Q:「ららぽーと」は、いつオープンするのか
 A:仮換地指定後、造成等をし、引渡した後約2年

井俣 憲治 議員



【問】中口新聞等の報道を見ると平成30年オープンとの報道がある。

【経済建設部長】仮換地指定は29年3月を予定。その後、出来るだけ早く渡したいが、いつ頃ということは現時点では話せない。

【問】来年3月に仮換地指定終了しても、造成が1日2日で終わるとは思えない。少なくとも平成30年オープンは無理だと理解した。造成にあたり、現在、東郷町に住んでいる方に迷惑をかけることもある。配慮してほしい。

【経済建設部長】周辺の方には迷惑をかけることもあるが、十分留意して組合と共に進める。

【問】区画整理事業に伴

う交通規制について、町民にわかりやすい資料・地図の提供を。

【経済建設部長】「組合だより」に記載しているが、道路規制の案内も大切なこと。組合と相談し、わかりやすいものを工夫する。

【問】新聞報道で、区画整理内にマンションが建つとあるが。

【経済建設部長】現在はないが、将来の土地利用の中では十分考えられる。



セントラル開発ららぽーと予定地

Q:福祉サービス多様化・個別化対策は
 A:今後、地域の見守り対策に配送事業所と協定

星野 靖江 議員



【問】高齢者の配食サービスは安否確認も含め大切な事業だが、実施状況は。

【福祉部長】配食時に本人が不在の場合は、業者から連絡があり、担当ケアマネージャーや緊急連絡先に連絡し安否を確認する。

【問】給食センターを利用・活用した高齢者配食事業計画は。

【福祉部長】個別配達や病院食等の提供は現在考えてない。

公共交通網の拡充は

【問】出かけたいまちの視点から新路線計画は。



東郷町住民意向調査報告書

備を進めている。

【問】高齢者自動車免許証返上の対策は。

【生活部長】窓口で必要書類提示により交通安全全啓発品を贈呈する。

子どもの居場所である児童館の運営は

【問】障がいのある子どもへの対応は。

【福祉部長】一人一人の特性に応じて、適切な対応ができるように職員配置やきめ細かな運営に心掛けている。

**Q：経済的に困難な子の就学に支援を
A：福祉施策などとともに総合的に研究**



門原 武志 議員

【問】 就学援助の入学準備資金は入学後ではなく入学前に支給を。

【教育部長】 前向きに研究したい。

【問】 経済的理由で進学をあきらめないために入学金への補助を。

【教育部長】 就学援助に限らず福祉施策の一つとして担当課と協議・研究したい。

新諸輪保育園の開園

【問】 2つの町立保育園の統廃合で設置される民営の仮称新諸輪保育園の開園に伴う町臨時職員の保育士の雇用への影響について伺う。

【福祉部長】 新諸輪保育園の運営法人も東郷での保育経験者の採用を重視。積極的な採用を

検討している。

【問】 園児が町立保育園から民間保育園に移ることへの対応は。

【福祉部長】 来年度は町と法人の合同で引継ぎ保育を行う。

本人確認の身分証明

【問】 町保有の自己情報開示請求時、身分証明書の提示でいいのでは。

【総務部長】 運転免許証の提示に加え、万一に備えて運転免許証番号の記録をお願いします。



仮称新諸輪保育園の建設現場

一 般 質 問

**Q：東郷町施設サービス(株)の今後は
A：愛知県一番の会社になり町の自慢にしたい**



いしい ゆみ 議員

【問】 東郷町施設サービス(株)は、町長が一人株主となり運営されてきた。健康志向のチームにも乗り経営は順調である。東郷町の特徴として、評価されつつある。株主である町長は、これからの東郷町施設サービス(株)をどう考えているのか。株式会社であることの利点は。

【町長】 株主(町民)へのより良いサービスの提供を通じ、利益の還元と第三セクターとして町の足らざる部分を補完している。将来は、自主性を持った会社になりたい。愛知県一番の会社になり町の自慢にしたい。是非とも共に育ててほしい。

改正介護保険は

【問】 介護保険制度が改正されこれからの要支援1、2に相当する方の見つけ出しは如何か。

【福祉部長】 基本のチェックリストの積極的な配布は行わないが地域包括センターが中心となり、支援の必要な人を把握できるよう医療機関や民生委員、老人クラブ等の住民組織、健診等を実施する健康課との連携を強化する。



改正介護保険



Q：名古屋市及び他市との合併についての考えは
A：現在においては考えていない

石橋 直季 議員

【問】北名古屋市市長の発言から、名古屋市との合併について話題となっている。名古屋市等との合併の考えは。

【企画部長】現在においては、合併によるのではなく、必要な場合は広域で連携して取り組むことで様々な行政課題の解決につなげたい。

道の駅について

【問】自動運転技術の向上等により、運転しなくてもよい未来が見えてきている。運動機会の高まりが予測される。本町には健康づくりの先見があるが、道の駅の休憩機能に健康づくりの観点を取り入れてはどうか。

【経済建設部長】健康づくりも含め、利用者が求める休憩機能について検討していく。

【問】防災拠点の観点からも、エコノミークラス症候群予防体操を開発し、平時から道の駅で啓発してはどうか。

【経済建設部長】車中泊に対するエコノミークラス症候群の対応策について、今後関係部局と調整していく。

※子ども予防接種についても質問しました。



道の駅 八王子滝山

Q：小中学校の校舎の大規模改修工事の計画は
A：校舎を継続使用していく為に計画している

加藤 啓二 議員

【問】校舎の大規模改修の計画は。

【教育部長】近年、多様な学習内容、学習形態に対応した機能的な校舎となるよう学校要望も取り入れながら設計をしている。

【問】セントラル開発による児童の増加の見込及び校舎、教室計画は。

【教育部長】東郷中央土地区画整理事業における区域内の計画人口は、

2400人・800世帯と計画されている。夫婦と子ども1人と想定し、平準化した年齢構成とした場合、現在の児童生徒に足した数と、普通教室として使用できる教室数から算出した人数を比較すると、東郷小学校・東郷中学校ともに

現在の校舎で対応可能。

【問】セントラル開発に伴う工事で通学路が非常に危険になる。春木川ウォーキングロードを利用した通学路の検討は。

【教育部長】通学路の指定制について学校に確認したところ、やはり児童の安全が第一優先であることから、整備されれば前向きに検討したいと伺っている。



東郷中学校 校舎

Q：各地下鉄駅へのバス路線の整備は
A：バスターミナルの整備と合わせた優先課題



若園ひでこ 議員

名古屋市合併

【問】町長は議員時代に名古屋市合併に町民と共に取り組んでいた。

【問】町民の町内⇄町外へのアクセスの充実・利便性の向上は、町外から町内へのアクセスの充実にもなる。しかし、バスターミナルには、大型商業施設「らぽーと」の存在がある。らぽーとと関連で町外から町内へのアクセスの量は、町民の町外から町内への量よりもアップする。この認識の反映が足りないのでは。

【町長】合併とは、行政サービスなどが充分でないと言った暮らしの中から出て来る。以前はこのように感じる人が結構いた。合併に肯定的な考えは74.1%だったが、社会の変化が早かった。町長就任後、町の魅力向上に懸命に取り組んで来た。自らが町を創出するのが一番よいと思った。



赤池駅バスターミナル



Q：将来に渡る健康に繋がる給食である為には
A：給食よりも、家庭での健康づくりが一番重要

國府田さとみ 議員

【問】給食の非遺伝子組換え食品の取り組みは。

【教育部長】豆腐・油揚げ・みそ・醤油など使用量が多いものは非遺伝子組み換え対応。

【問】頻度の高い油は。

【教育部長】情報が得られず不明。引き続き県給食会に問い合わせる。

【問】給食の糖分について。砂糖の取りすぎは成人病や骨をもろくする原因になるが、特に問題の多い異性化糖の使用頻度は。

【教育部長】月1、2回。

【問】骨が作られる妊娠期、幼児期、思春期の食事は大切。カルシウム摂取に牛乳が万能ではないことから、骨を作る献立を牛乳以外で実施できないか。長久

手市ホームページで代替え物を検討していくとあるいかがか。

【教育部長】牛乳を無くす事は考えていないが代替え物を検討する他市町の動きは注視する。

【問】健康づくりに直結した給食の在り方を求め、それを補完するための材料費値上げが必要な場合、公費負担を提唱するが町長の考えは。

【町長】給食が健康づくりの全てではない。



東郷町の給食

総務経済委員会研修

(11月1日)

■あま市

愛知県が推進する「自動走行実証プロジェクト」に積極的に参画・協力し、市の公共施設を活用した「産官学連携自動走行実証実験促進事業（あま市モデル）」を実施することが、当該プロジェクトの機運を醸成し、地方創生事業を加速化することを目的としている。東郷町では先進事例を参考に検討したい。



自動走行実証実験が行われている公共施設の駐車場

■長久手市

長久手古戦場駅周辺を新たな都市核と位置づけた『リニモテラス構想』が住民の暮らしを支え、「複合商業施設・店舗、健康、医療相談、住民サービスコーナー、観光・イベントインフォメーション、大卒連携拠点施設や、リニモ巡回バスなど公共交通の接続を重視したバスターミナルを整備した連携が検討されていた。



長久手市議会にて

総務経済委員会研修

(10月6日・7日)

■長野県岡谷市

平成18年7月19日の豪雨災害を「忘れまじ豪雨災害安全・安心なまちづくり」をめざして、災害の記録を風化させることなく、経験から得た教訓及び知識を後世に継承するため「岡谷市防災の日」を取り決め、「岡谷市防災・減災基本条例」を制定。防災・減災に取り組むことの重要性を再確認した。



岡谷市議会にて

■長野県伊那市

公共交通を再編し路線を見直す中で、利用者の少ないバス路線や公共交通空白地帯にデマンドタクシーを導入したが課題は利用者の減少で、名称を「お手軽乗り合いタクシー」に変更するなど持続可能な公共交通の確立を目指している。東郷町では先進事例を参考に慎重に検討したいと思う。



伊那市議会にて

総務経済委員長 加藤啓二

文教民生委員会研修

(10月26日・27日)

■文部科学省

高大接続改革を前に、町立小中学校教育では、どのような対応が必要となるか、詳細に文科省大学入試室長より説明を受けた。

また、外国語教育推進室専門職からの説明により、国が目指す外国語教育の方向性も明確になり、本町の英語教育の環境整備の必要性を痛感しました。



文部科学省にて

■静岡県磐田市

少人数学級実現のために市費で教員10人を採用し、大きな効果を得ている事も判りました。

また、分離型小中一貫校を推進し、中1ギャップの解消を図りながら地域の連携を強める施策は、本町教育行政にとどまらず、街づくり策として反映させたい、と感じました。

文教民生委員長 井俣憲治



磐田市議会にて

広報広聴委員会研修

(10月31日)

■知多市議会

平成25年議会基本条例制定により報告会は広報広聴委員会が開催場所や回数を検討。年1回以上の開催を要綱で定め、年1回開催とした。次回開催までは議長を中心に各常任委員会と連絡調整し、具体的な報告事案の工夫も含め時間的な余裕があると説明があった。

■蟹江町議会

今年度から報告会の活動報告はテーマを決めて実施。視覚によるパワーポイントを活用していた。開催回数は年1回とし、終了後は次回に向け、課題の検討をする。今後は現在の報告会を定着させたいと説明があった。

委員一同、今後の課題と捉えた研修でした。

広報広聴委員長 星野靖江



知多市議会にて



蟹江町議会にて

議会運営委員会研修

(10月14日)

■豊明市議会

平成24年議会基本条例施行
(25年2月改正)

① 通年議会…休会中、議長権限で会議を再開できる。緊急開催のため日程調整が困難。

② 反問権…議論を深めるため回数制限なし。(質問時間内としない)

③ 録画放映…本会議の一般質問を録画。

④ 休日議会…各会派の代表質問を日曜開催。



豊明市議会にて



飛島村議会にて

■飛島村議会

特徴は議事録作成の迅速化と簡素化を図り、音声認識機能を持つ議事録作成支援システムを導入。成果はその場で文章化が可能であり、自庁処理のため作成が早いこと。次年度、開かれた議会のツールと考慮し近隣とタブレット議会を進めている。

議会運営委員長 星野靖江

議会活性化特別委員会研修

(10月17日・18日)

■兵庫県播磨町議会

議会報告会を、開かれた親近感ある議会を目指し、議会や町政に対する意見交換を開催。各地区で行いテーマを決め自治会や各種団体など多方面に募っている。住民との対話を重視し、議会報告会から『議会と語ろう会』にして、参加しやすくされている。改めて参考となる研修でした。



播磨町議会にて



大津市議会にて

■滋賀県大津市議会

大規模災害に備えた体制整備や、災害時にも議会が迅速に対応できるよう地方議会初の「議会BCP(事業継続計画)」を策定。東郷町議会でも「議会BCP」の必要性を検討し、参考にしたい。

議会活性化特別委員長

加藤啓二

議会の活動

■議会報告会・意見交換会を開催しました

日時：平成28年11月6日(日) 10：00～11：50

場所：イーストプラザいこまい館多目的室

第1部 議会報告会

各常任委員会と決算特別委員会の報告

第2部 意見交換会

◇参加者による主な意見

- 議会報告会・意見交換会を実施するにあたり準備不足と思う。
- たくさんの参加に期待していたが、議会の審議内容だけでなく、町政全般について議会の立場で話せば参加者が増えると思う。
- 町政に対する意見として巡回バスの地下鉄乗り入れを希望する。

終了後、議会報告会に関するアンケート調査を実施。参加された皆さんより貴重な意見を頂きました。今後に活かしてまいります。



■議会の活性化に向けて取り組んでいます ～行政視察でどんな成果があったか～

議会には3常任委員会（総務経済・文教民生・広報広聴）、議会運営委員会、議会活性化特別委員会が設置されています。各委員会は行政視察終了後、全員協議会にて研修内容を報告します。このような取り組みは平成25年9月議会から始まり、視察の成果が行政に反映されるよう努力しています。

傍聴もできます。 議長 箕浦克巳



一般質問、その後どうなった？

Q 国民健康保険税で、固定資産に賦課する資産割はなくすべきでは。

A 慎重に考えたい。(平成23第1回定例会など)



平成28年度に資産割は半額、29年度には廃止。ただし資産割をなくす埋め合わせのために所得割などの税率を上げ、その結果、固定資産税を払っていない世帯が増税となります。

東郷町の国民健康保険税は

- ・全世帯に賦課する平等割
- ・世帯人数に賦課する均等割
- ・所得に賦課する所得割
- ・固定資産税額に賦課する資産割

からなる「4方式」です。近年、資産割をなくした「3方式」を採用する自治体が増えており、平成23年第4回定例会、平成27年第2回定例会などで資産割の廃止が取り上げられました。

表紙の写真

東郷音頭保存会は、東郷町で38年間ふるさとの踊りとして受け継がれてきた伝統芸能「東郷音頭」「東郷小唄」の普及・継承を目的に、親子・こども教室を、文化庁の補助を受け今年も10回開催しています。

議会へのご意見をお待ちしています。

連絡先

〒470-0198
東郷町大字春木字羽根穴1番地
TEL.0561-38-3111 FAX.0561-38-3118
Eメール tgo-gikai@town.aichi-togo.lg.jp

門原武志
近藤鑛治
井藤鑛治
若松孝行
西尾隆男
國府田さとし

副委員長
いしいゆみ

委員長
星野靖江

広報広聴委員会

議長室から

議長 箕浦克巳

議長室から西側に目を移すと雑木林や竹林が消え、造成工事が一望できます。町の中心核が整備され、町が生まれ変わる一大事業に胸が躍る思いです。議会も町の発展と歩調を合わせ、委員会視察や政務活動の成果を行政に反映させていかねばと全議員奮闘中です。



平成29年第1回定例会の日程

23日(木)	15日(水)	14日(火)	10日(金)	9日(木)	7日(火)	6日(月)	3月2日(木)	2月23日(木)
本会議(討論・採決)	文教民生委員会	総務経済委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	(一般質問・議案質疑)	本会議	本会議(一般質問)	本会議(議案上程)

- 3月定例会で審査する請願・陳情の提出期限は2月10日(金)午後3時です。ただし緊急を要すると議会運営委員会が判断したものは、この限りではありません。請願は必ず委員会で審査されますが、紹介議員が必要です。陳情には紹介議員は必要ありませんが、町内在住者が持参し議会運営委員会が判断したのものについて委員会で審査します。
- 請願・陳情を提出し、意見陳述しませんか？陳述時間は5分、陳述後に議員からの質疑を受け答弁できます。ただし参考人に支給される報酬は支払われません。
- 本会議は午前10時、委員会は午前9時開始です。